

地球温暖化対策実施状況書

1 地球温暖化対策事業者の概要

地球温暖化対策事業者 (届出者)の名称	株式会社エスカ
地球温暖化対策事業者 (届出者)の住所	名古屋市中村区椿町7-1 オーヴア21 9F
工場等の名称	エスカ
工場等の所在地	名古屋市中村区椿町6番9号先
業種	不動産業、物品賃貸業
業務部門における 建築物の主たる用途	物販店
建築物の所有形態	賃貸ビル等(賃貸している建築物)
事業の概要	駐車場及び地下街(飲食・物販)
計画期間	平成25年4月1日 ~ 平成28年3月31日

2 地球温暖化対策実施状況書の公表方法等

公表期間	平成28年10月11日 ~ 平成29年1月9日		
公表方法		掲示 閲覧	(場所)
	○	ホーム ページ	(HPアドレス) <a href="http://www.esca-sc.com">http://www.esca-sc.com</a>
		冊子	(冊子名・ 入手方法)
		その他	(その他詳細)
公表に係る問い合わせ先	052-452-1183		

3 地球温暖化対策の推進に関する方針及び推進体制

(1) 地球温暖化対策の推進に関する方針

- 1・省資源省エネルギー活動を推進します。
- 2・従業員への環境に関する教育をすすめ、意識の向上を図ります。
- 3・廃棄物の発生を抑制し、リサイクルを推進します。

(2) 地球温暖化対策の推進体制

取締役施設部長（推進員）

↓

エネルギー管理員

↓

全 社 員

4 温室効果ガスの排出の状況

目標年度（平成 27 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		4,296	t-CO <sub>2</sub>
（温① 二室を 酸効除 化果く 炭ガ 素排 換算） 排出量	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO <sub>2</sub>
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO <sub>2</sub>
	④メタン		t-CO <sub>2</sub>
	⑤一酸化二窒素		t-CO <sub>2</sub>
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO <sub>2</sub>
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO <sub>2</sub>
	⑧六フッ化硫黄		t-CO <sub>2</sub>
	⑨エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO <sub>2</sub>
温室効果ガス総排出量（①～⑨合計）		4,296	t-CO <sub>2</sub>

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	原単位排出量
------------------	--------

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績				
	平成 24 年度		平成 27 年度		平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度
温室効果ガス 総排出量		t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>
削減率（対 基準年度）			%		%		%		%
温室効果ガス みなし総排出量					t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub>
削減率（対 基準年度）					%		%		%

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	平成 24 年度		平成 27 年度		平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度	
原単位あたりの 排出量	0.156	t-CO <sub>2</sub> / m <sup>2</sup>	0.1513	t-CO <sub>2</sub> / m <sup>2</sup>	0.1589	t-CO <sub>2</sub> / m <sup>2</sup>	0.1515	t-CO <sub>2</sub> / m <sup>2</sup>	0.1472	t-CO <sub>2</sub> / m <sup>2</sup>
削減率（対 基準年度）			3.0 %		▲ 1.9 %		2.9 %		5.6 %	
原単位あたりの みなし排出量					t-CO <sub>2</sub> / m <sup>2</sup>		t-CO <sub>2</sub> / m <sup>2</sup>		t-CO <sub>2</sub> / m <sup>2</sup>	
削減率（対 基準年度）					%		%		%	

（2）進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

ガス使用量の削減が前年度比▲18%（暖房用ボイラー▲2.7%）  
原因として外気温が前年度に比して高い傾向にあったため。

備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。  
備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。  
備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。  
備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
省エネルギー・省資源行動の実践	冷暖房設備 冷温水ポンプ更新時は動力容量の見直し及びインバーターの設置を検討する	平成25年度中に実施予定	実施済
省エネルギー・省資源行動の実践	照明受変電等 照度測定・照明器具・電球の交換を定期的に実施する	随時	随時実施
省エネルギー・省資源行動の実践	照明受変電等 使用していない部屋の照明は消灯する	随時	随時実施
省エネルギー・省資源行動の実践	LED照明器具への転換を検討する	平成26年度中に駐車場照明のLED化を実施予定	平成27年度末に駐車場照明（Hf蛍光灯）をLEDに更新
省エネルギー・省資源行動の実践	長時間運転する送風機等のベルトは省エネベルトに交換する	随時	随時実施

指針第2号様式

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 3 年度目（平成 27 年度）における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
電力		t-CO <sub>2</sub>
熱		t-CO <sub>2</sub>

(3) 環境価値（クレジット等）の活用の状況

計画期間 3 年度目（平成 27 年度）におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
		t-CO <sub>2</sub>

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量（みなしの削減量）の合計

t-CO <sub>2</sub>
-------------------

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

駐車場階（地下2階）の照明器具（H f 3 2 W 蛍光灯）を全灯LED照明に更新した。
--

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

特に無し
------